授業概要（シラバス）

■科目基本情報　　専門学校日本ホテルスクール

科目番号	FL110	分類	演習科目
授業科目名	日本語講座Ⅰ	英文授業科目名	Japanese Ⅰ
年度	2024年度	年次	昼間部　1年　ホテル科・ブライダル科・英語専攻科・ホテルSNS科
開講学期	通年	授業の方法	講義科目
単位数	1単位	年間授業時間数	28.8時間
科目区分	語学科目	授業コマ数	24コマ
担当教員名	篠　貴絵　実務経験なし	備考	
経歴			

■授業・科目情報

学習目標	日常生活を送る上で使用頻度が高い日本語を優先的に学び、場面に応じた言い回しやことばの使い分けができるようになる。 違和感を与えることなく自然なやり取りができるようになり、就職活動に向けた応用力を身に着ける。
教科書	日本まるごと紹介事典

授業計画

回数	内容
1	自己紹介。インターンシップに参加する（ロールカード）
2	「就活を考える」を読む。
3	面接を受ける。（ロールカード）Ⅰ
4	面接を受ける。（ロールカード）Ⅱ
5	報告書を書く。
6	電話対応1（電話を取り次ぐ）
7	電話対応Ⅱ（伝言を受ける）
8	アポを取る。（ロールカード）
9	ご案内「あちらでございます。」
10	誘導 「お部屋までご案内します」
11	復習
12	前期試験
13	私のキャリアプラン （インタビュー）
14	確認「どのようなお食事がよろしいでしょうか。」
15	一歩進んだ応対「もしよろしければ、確認いたしましょうか。」
16	要望に応える「只今ご用意いたしますので、少々お待ちくださいませ。」
17	迅速に応える「すぐに確認いたします。」
18	傾聴「何かございましたか。」
19	クレームを聴く「ご迷惑をおかけし、大変申し訳ございませんでした。」
20	代案「セミダブルのお部屋でしたらご用意できますが、いかがでしょうか。」
21	提案「そちらで体験できますが、いかがでしょうか。」
22	さまざまな謝罪「ご迷惑をおかけし、大変申し訳ございませんでした。」
23	復習
24	後期試験

授業の進め方	日常生活に密着した実用的な語彙・表現を学び、それを使って様々なシチュエーションで、実践、応用をしていく。
試験の実施方法	前後期各1回 試験期間に設定し、形式は文書試験とする。
成績評価方法	本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点＝50%（10ポイント） ②出席率　＝50%（10ポイント） 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント（合計20ポイント）に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評価とするが、通年教科の後期学年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。
関連科目	日本語講座2
参考書	
学生へのメッセージ	会話文やフレーズを単なる暗記ではなく、日本式の接客と日本文化を理解し、運用できるようになることを期待しています。

以上